

第2節 感染症

1 結核予防

(1) 新登録状況

表1 新登録状況 (市町別・年齢別)

(平成27年)

	総数	活動性結核					罹患率 (人口10万 対)	潜在性 結核 感染症 治療中 (別掲)	
		肺結核活動性			肺外 結核 活動性				
		総数	喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性		菌陰性 ・ その他			
管内計	25	24	14	8	2	1	9.5	3	
市 町 別	かほく市	4	3	2	1	-	1	11.7	-
	白山市	10	10	6	4	-	-	9.1	1
	野々市市	2	2	1	-	1	-	3.6	-
	津幡町	3	3	1	1	1	-	8.1	1
	内灘町	6	6	4	2	-	-	22.2	1
年 齢 別	29歳以下	-	-	-	-	-	-	-	2
	30～39歳	1	1	-	-	1	-	3.1	-
	40～49歳	1	1	1	-	-	-	2.6	-
	50～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～69歳	3	3	2	-	1	-	8.1	-
	70歳以上	20	19	11	8	-	1	47.3	1

(2) 治療状況

表2 肺結核塗抹陽性者初回治療コホート

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
治療成功割合	100	66.67	76.92	73.52	55.56	40.00	38.50	100
治療失敗脱落中断割合	0	0	0	0	0	0	7.70	0
死亡割合	0	8.33	23.08	11.76	27.78	20.00	15.40	0
情報不明割合	0	1.82	0	3.61	0	0	7.70	0

(3) 定期健康診断実施状況

表3-1 定期健康診断状況

(平成27年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検査内容			患者 発見数	発病の恐 れのある者
				ツ反	間接撮影	直接撮影		
事業主	11,036	10,544	95.5		3,076	7,448	-	-
学校長	5,023	4,785	95.3		3,217	1,568	-	-
施設長	1,940	1,784	92.0		731	1,038	-	-
市町長	55,916	14,412	25.8		3,501	10,911	-	-
合計	73,915	31,525	42.7	-	10,525	20,965	-	-

表3-2 定期健康診断状況(市町別)

(平成27年度)

区分		対象者	受診者	受診率 (%)	患者発見数	発病の恐れのある者
一般 住民 検診	管内	55,916	14,412	25.8	0	0
	かほく市	10,180	3,649	35.8	0	0
	白山市	24,302	3,305	13.6	0	0
	野々市市	7,413	3,044	41.1	0	0
	津幡町	8,184	2,164	26.4	0	0
	内灘町	5,837	2,250	38.5	0	0

(4) 接触者健診

表4 接触者健診 (平成27年度)

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	保健所実施分				医療機関委託			実施その他	発見患者数	発病の恐れ	
				(実)	検査内容内訳			(実)	検査内容内訳					
					QFT	撮間影接	撮直影接		ツ反	撮間影接				撮直影接
患者家族	52	51	98.1	33	33			18	2	-	16	-	-	2
その他	164	161	98.2	97	97	-	-	52	2	-	48	12	-	-
合計	216	212	98.1	130	130	-	-	70	4	-	64	12	-	2

(5) 管理検診

表5 管理検診 (平成27年度)

対象者数	受診者数	受診率 (%)	受診機関			要医療者数	要医療率	再発の恐れのある者
			保健所	委託医療機関	その他			
103	98	95.1	-	66	32	-	-	-

(6) 結核対策特別促進事業

表6 結核対策特別促進事業内容一覧 (平成27年度)

事業名	事業の目的	実施期間 (日時)	対象	内容
医師研修会	診断治療にあたる医師に対し、最近の結核医療についての知識の普及を図り、適切な結核医療を推進する。	10月19日(月) 19:00~21:00	対象者 結核医療に携わる医師 参加者：29人	講演 「小児結核～結核の基礎知識から実際の対応まで～」 講師：公益財団法人結核予防会 結核研究所 対策支援部 企画・医学科 主任 末永 麻由美 先生
普及啓発事業	結核に対する正しい知識を普及し、地域における結核予防の推進を図る。	11月10日(火) 13:30~16:00	対象者 高齢者福祉施設等関係職員、市町関係職員等 参加者：101人	講話 「知っておきたい結核対策のポイント」 講師：石川中央保健福祉センター職員

2 感染症予防

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に関する法律(以下感染症新法)」は、感染症の予防及びそのまん延の防止を目的として国及び地方公共団体が感染症をめぐる状況の変化や感染症の患者等が置かれてきた状況を踏まえ、これらの者の人権に配慮しつつ、総合的かつ計画的に対策を推進することを基本理念としている。さらに平成15年11月、近年の海外における感染症の発生状況や国際交流の進展、保健医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、検疫体制の強化、緊急時における国内感染症対策の強化、動物由来感染症対策の強化を目的として、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律(以下改正法)」が施行された。また、平成18年6月にインフルエンザ(H5N1)が指定感染症として定められている。

さらに、平成18年10月には、病原体等の管理体制や感染症をめぐる環境の変化、結核対策における見直しの必要性から、病原体等の管理体制の確立、感染症分類の見直し、結核予防法を廃止し感染症法に統合、患者の人権尊重のための手続きの改善、感染症に関する情報公開・収集について、法改正がなされ、平成19年4月(病原体等の管理体制については平成19年6月)に施行された。改正法では、感染症新法における感染症の類型区分をさらに見直し、一類感染症に南米出血熱を追加し、二類感染症に重症急性呼吸器症候群を位置づけ、結核を追加し、三類感染症にコレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスを位置づけた。

保健所では、医師の届出に基づき、感染源等の調査や二次感染予防のための指導を行っている。また、地域での研修会や健康教育を通して、関係機関が感染症について知識を持ち、感染症予防及び感染症発生時に適切な対応ができるよう支援している。

(1) 感染症発生状況(一類・二類・三類・四類・五類：全数把握)

表1 一類・二類・三類感染症の発生状況(年次別発生件数)

疾患別		年												
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27			
一類 感染症	1	エボラ出血熱												
	2	クリミア・コンゴ出血熱												
	3	痘そ												
	4	南米出血熱*												
	5	ペスト												
	6	マールブルグ病												
	7	ラッサ熱												
	8	新型インフルエンザ(A/H1N1)												
二類 感染症	1	急性灰白髄炎												
	2	結核*		35	32	48	49	60	33	39	37	29		
	3	ジフテリア												
	4	重症急性呼吸器症候群												
	5	中東呼吸器症候群												
	6	鳥インフルエンザ(H5N1)												
	7	鳥インフルエンザ(H7N9)												
三類 感染症	1	コレラ												
	2	細菌性赤痢		1	1	2								
	3	腸管出血性大腸菌感染症	14	39	37	15	26	18	8	13	4	5		
	4	腸チフス												
	5	パラチフス												

*平成19年4月の感染症新法の改正により新たに全数把握の対象となった疾患

(結核については平成19年4月からの集計である。)

平成11年3月以前は伝染病予防法等の法律、平成11年4月から平成15年11月までは感染症新法、平成15年11月及び平成19年4月以降は改正法に基づく届出による。

表2 四類・五類感染症（全数把握）の発生状況（石川中央管内・年次推移）

疾患別		年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
四 類 感 染 症	1	E型肝炎								1		2
	2	ウエストナイル熱										
	3	A型肝炎	1	1								
	4	エキノコックス症										
	5	黄熱										
	6	オウム病										
	7	オムスク出血熱*										
	8	回帰熱										
	9	キャサヌル森林病*										
	10	Q熱										
	11	狂犬病										
	12	コクシジオイデス症										
	13	サル痘										
	14	重症熱性血小板減少症候群										
	15	腎症候性出血熱										
	16	西部ウマ脳炎*										
	17	ダニ媒介脳炎*										
	18	炭疽										
	19	チクングニア熱										
	20	つつが虫病										
	21	デング熱										
	22	東部ウマ脳炎*										
	23	鳥インフルエンザ										
	24	ニパウイルス感染症										
	25	日本紅斑熱										
	26	日本脳炎										
	27	ハンタウイルス症候群										
	28	Bウイルス病										
	29	鼻疽*										
	30	ブルセラ症										
	31	ベネズエラウマ脳炎*										
	32	ヘンドラウイルス感染症*										
	33	発しんチフス										
	34	ボツリヌス症										
	35	マラリア										
	36	野兎病										
	37	ライム病										
	38	リッサウイルス感染症										
	39	リフトバレー熱*										
	40	類鼻疽*										
	41	レジオネラ症		2	3	1	3	7	1	2	5	4
	42	レプトスピラ症										
	43	ロッキー山紅斑熱*										

* 平成19年4月の感染症新法改正により新たに全数把握の対象となった疾患

（結核については平成19年4月からの集計である。）

平成11年3月以前は伝染病予防法等の法律、平成11年4月から平成15年11月までは感染症新法、平成15年11月及び平成19年4月以降は改正法に基づく届出による。

疾患別		年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
五 類 感 染 症	1	アメーバ赤痢	2			2		1	1	2	3	1	
	2	ウイルス性肝炎	1		1						1		
	3	カルバペネム耐性腸管細菌感染症									1	1	
	4	急性脳炎	2	2		1	1	2				1	
	5	クリプトスポリジウム症											
	6	クロイツフェルト・ヤコブ病	1						1				
	7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1		1	2	1		1	
	8	後天性免疫不全症候群											
	9	ジアルジア症				1					1		
	10	侵襲性インフルエンザ菌感染症								1		1	
	11	侵襲性髄膜炎菌症											
	12	侵襲性肺炎球菌症								3	3	4	
	13	水痘（入院）											3
	14	先天性風しん症候群											
	15	梅毒			1	1	1	1		3	2	4	
	16	播種性クリプトコックス症											
	17	破傷風						1					
	18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症											
	19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											
	20	風しん								3			
	21	麻しん*			3								
	22	薬剤耐性アシネトバクター感染症											
	23	髄膜炎菌性髄膜炎											

* 平成19年4月の感染症新法改正により新たに全数把握の対象となった疾患（結核については平成19年4月からの集計である。）

平成11年3月以前は伝染病予防法等の法律、平成11年4月から平成15年11月までは感染症新法、平成15年11月及び平成19年4月以降は改正法に基づく届出による。

(2) 感染症発生状況 (五類 定点把握)

ア 月別発生状況 (人数)

表3 小児科・内科・眼科疾患 (週報)

(平成27年)

感 染 症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
インフルエンザ	管内	2,370	753	213	156	39	9	1	0	0	0	3	3	3,547
	県内	8,293	3,145	1,160	658	167	37	4	9	3	10	12	39	13,537
RSウイルス感染症	管内	11	1	2	3	1	1	0	3	3	72	90	68	255
	県内	69	18	38	31	14	9	8	18	68	269	334	304	1,180
咽頭結膜熱	管内	12	15	9	6	8	24	22	15	6	4	10	31	162
	県内	37	58	55	96	70	112	71	34	61	95	77	142	908
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	132	140	178	98	44	68	33	16	17	31	23	25	805
	県内	646	679	764	709	374	372	282	134	188	257	300	423	5128
感染性胃腸炎	管内	285	253	447	400	304	205	100	60	79	143	349	535	3160
	県内	1,051	950	1,297	1,408	893	681	473	288	299	447	963	1,573	10,323
水痘	管内	34	20	20	42	12	8	6	7	12	18	13	16	208
	県内	171	92	80	51	27	22	26	20	37	37	32	72	667
手足口病	管内	2	0	1	2	7	30	564	197	38	19	10	6	876
	県内	5	2	4	8	33	136	1971	725	165	69	20	12	3,150
伝染性紅斑	管内	20	23	38	48	18	31	19	4	1	4	4	4	214
	県内	111	111	118	146	93	104	121	45	8	9	14	31	911
突発性発しん	管内	12	14	16	28	15	26	38	34	32	25	18	29	287
	県内	50	49	41	74	47	68	74	64	69	65	47	62	710
百日咳	管内	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	県内	0	1	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	7
ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	0	0	7	90	26	9	3	0	0	135
	県内	0	0	0	3	13	55	314	136	32	6	4	1	564
流行性耳下腺炎	管内	10	31	41	122	73	85	114	87	71	108	77	97	916
	県内	28	57	92	199	147	174	259	198	222	311	245	369	2,301
急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	管内	5	1	0	3	0	6	2	3	5	2	1	3	31
	県内	11	2	4	8	4	21	15	7	9	7	2	7	97
細菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	5
マイコプラズマ肺炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	29	17	24	17	6	8	13	27	21	19	26	30	237
クラミジア肺炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	6	26	32	7	3	0	0	0	1	0	1	76

表4 STD疾患・薬剤耐性菌感染症（月報）

（平成27年）

感染症	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
性器クラミジア 感染症	管内	3	2	5	5	6	7	8	5	7	6	4	4	62
	県内	21	19	19	21	20	22	20	19	27	27	20	23	258
性器ヘルペス ウイルス感染症	管内		1			1	2	1	1	2				8
	県内	9	5	9	8	11	11	10	21	9	9	12	3	117
尖圭 コンジローマ	管内	1	2	1	2	1	1	1				1	1	11
	県内	8	4	5	3	7	3	3	2	7	7	3	4	56
淋菌感染症	管内	3	1	1	2	2	3	4	2	4	6	1	3	32
	県内	5	5	4	6	5	5	18	9	8	9	9	10	93
メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	管内	10	2	3	4	4	5	4	7	2	6	6	6	59
	県内	27	10	19	16	24	22	15	22	16	21	13	27	232
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内			3				2	2	4	3	1	2	17
薬剤耐性緑膿 菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性アシネ トバクター感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は平成24年1月14日に5類感染症に追加された。

イ 疾患別発生状況（石川中央管内・定点あたり報告数）

図1 インフルエンザ・小児科定点把握疾患発生状況の月別推移（平成23～27年）

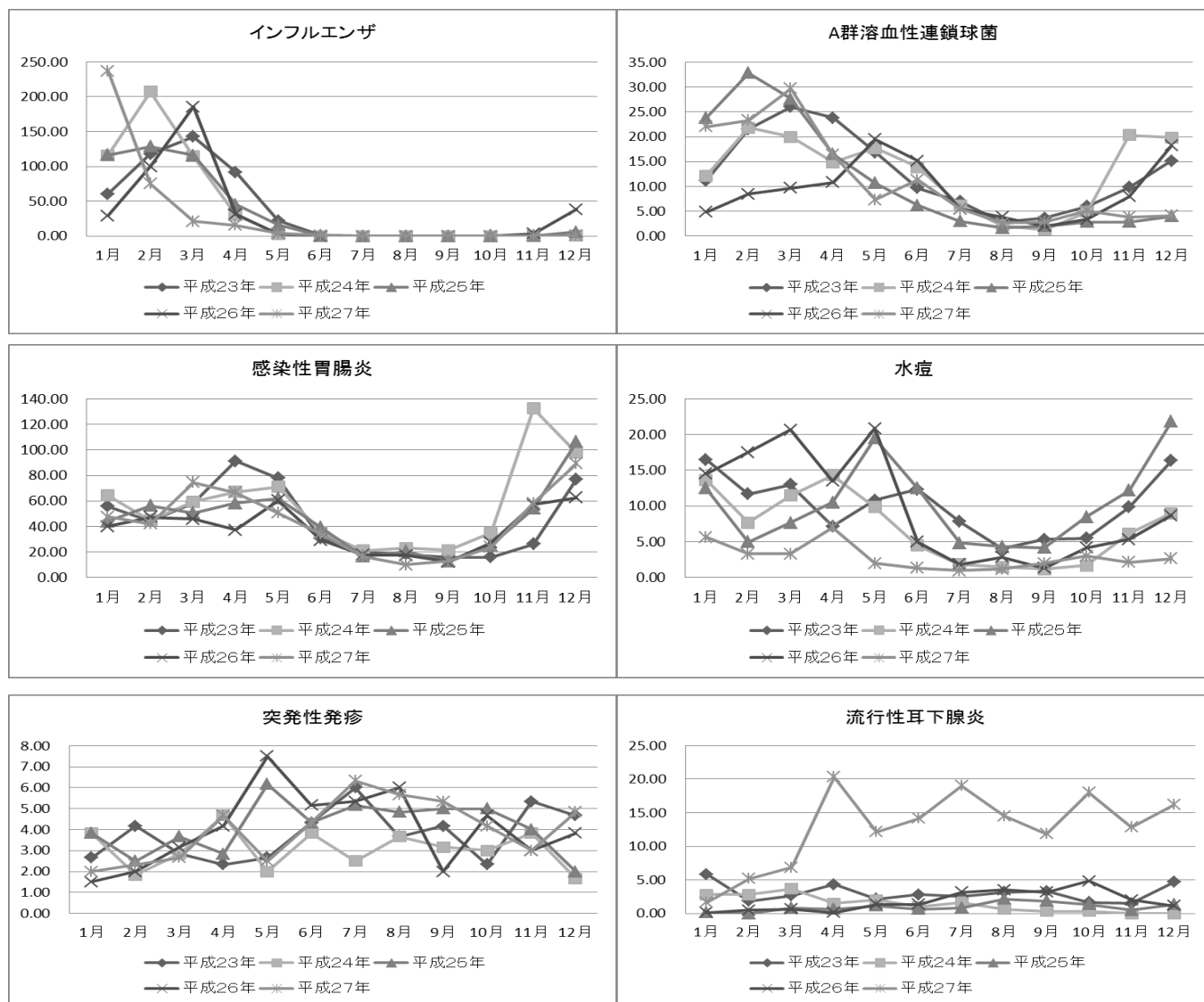


図2 S T D 疾患の年齢別発生状況（平成27年）

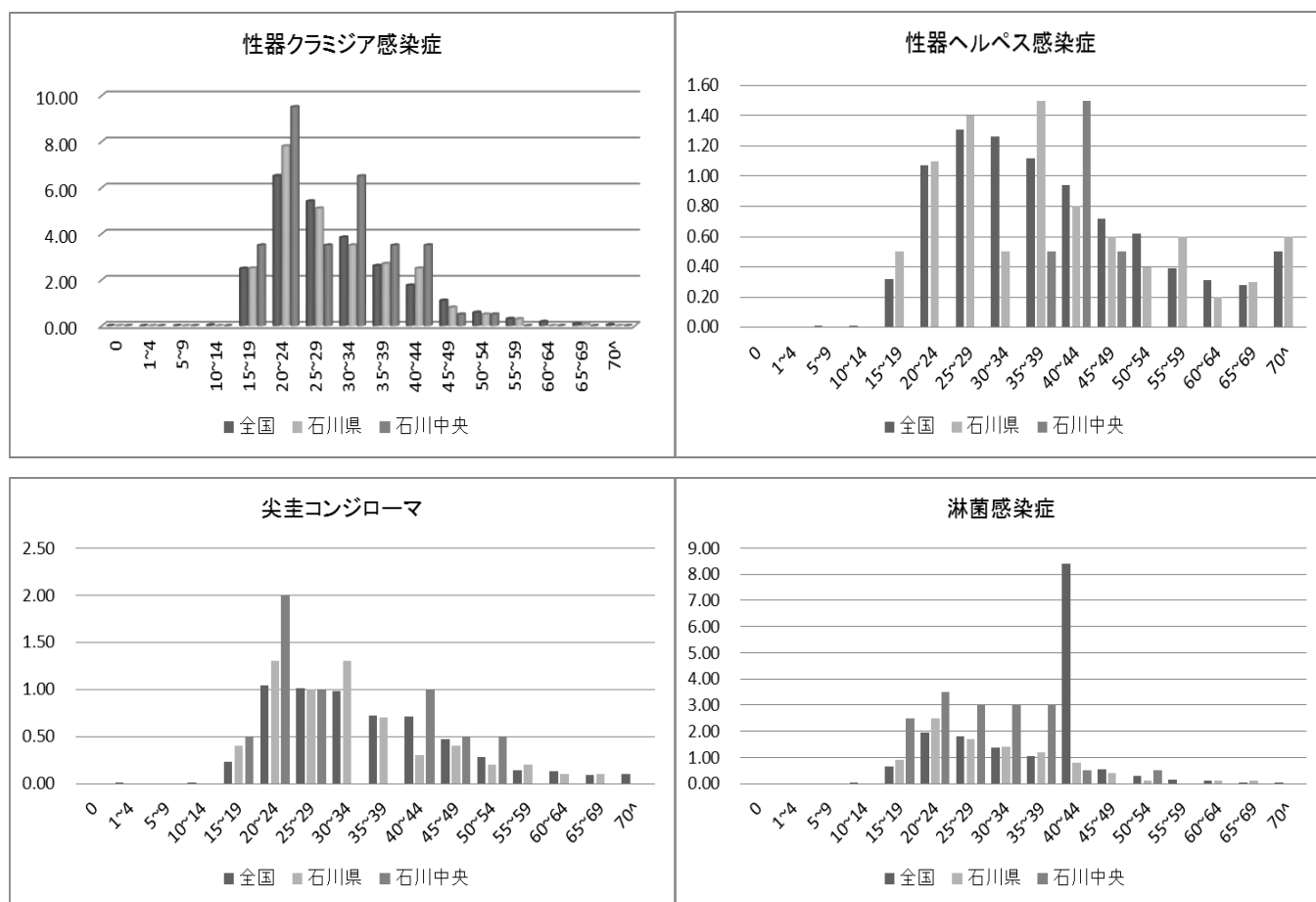
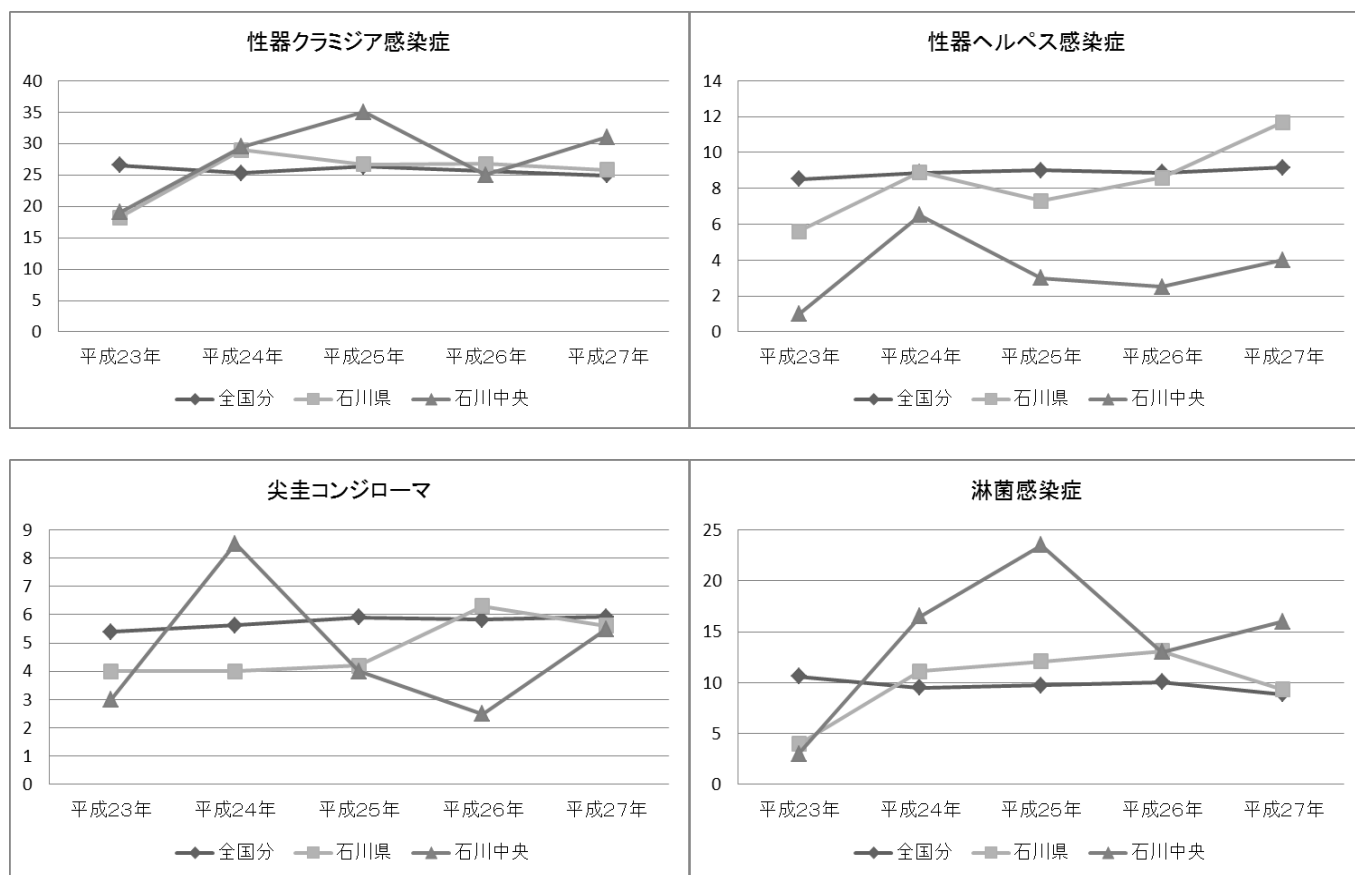


図3 S T D 疾患発生状況の経年推移



(3) 感染症予防相談・訪問指導

表4 感染症予防相談・訪問指導状況

(平成27年度)

区分	1類感染症		2類感染症		3類感染症		4類感染症		5類感染症		その他		計		
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	
相談	来所	0	0	38	86	3	3	1	1	473	507	0	0	514	597
	電話		4		1,259		87		37		254		38		1,679
訪問指導		0	0	33	110	15	16	10	10	9	9	0	0	67	145

(4) 感染症検査

表5 感染症検査実施状況

(平成27年度)

区分	患者・患者との接触者	食品取扱従事者	給食施設従事者	水道給水従事者	その他	計
検査						
依頼						
行政	11					
陽性件数	0					

※感染症発生届出・感染症集団発生報告を受けて実施した検査件数

(5) 感染症予防研修会

(平成27年度)

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加人数
平成27年11月10日(火) 13:30~16:00 いしかわ総合 スポーツセンター	1)「冬季に流行する感染症の予防と対応について」 公立松任石川中央病院感染管理認定看護師 2)「感染症集団発生時の情報把握と報告について」 健康推進課職員 3)「知っておきたい結核対策のポイント」 健康推進課職員 4)「感染性胃腸炎を想定した嘔吐物の処理方法について」 健康推進課職員	高齢者福祉施設 職員 市町担当者	101人
平成27年11月20日(金) 13:30~16:00 いしかわ総合 スポーツセンター	1)「冬季に流行する感染症の予防と対応について」 公立松任石川中央病院感染管理認定看護師 2)「施設における感染症の早期把握と集団発生時の対応」 健康推進課職員 3)「感染性胃腸炎を想定した嘔吐物の処理方法について」 健康推進課職員	保育所・幼稚園 職員 障害保健福祉施設職員 市町担当者	54名

(6) 感染予防のための施設巡回指導

(平成 27 年度)

実施日	施設数
認可外保育所(12月)	6ヶ所

※公立保育所は最低基準検査、法人保育所は指導監査と併せて感染症予防の指導を実施

(7) 感染症に関する健康教育

(平成 27 年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加人数
平成 27 年 9 月 15 日 10 時～16 時 石川県社会福祉会館	石川県内の保育所に勤務する看護師	講義：感染症対策の基本知識 実技：手洗い実習・吐物処理実習	69 名
平成 27 年 10 月 16 日 10:40～12:10 石川県立看護大学	石川県立看護大学 4 年生のうち「感染看護学」を選択した者	講義：保健所における感染症対策	20 名
平成 27 年 11 月 9 日 18:30～19:30 松任中学校	白山市内の保育所職員	講義：保育所における感染症対策の必要性	40 名
平成 28 年 1 月 20 日 10 時 45 分～11 時 15 分 FM-N1	ラジオリスナー	講義：冬期に流行しやすい感染症	

(8) 所内訓練

(平成 27 年度)

日時・会場	対象	研修内容	参加人数
平成 27 年 12 月 15 日 13 時 30～15 時 30 分 石川中央保健福祉センター	石川中央保健福祉センター職員	実技：エボラ出血熱患者対応を想定した PPE の安全な着脱方法について N95 マスクフィットテスト	15 名

3 エイズ・性感染症予防

(1) HIV患者・感染者届出状況

表1 HIV患者・感染者届出状況(平成27年12月27日現在)

	HIV感染者	AIDS患者
全 国	17,848	8,056
石 川 県	76	38

※凝固因子製剤による患者・感染者は除く

(2) エイズ相談・検査

表2 エイズ相談・検査実施状況

年度	区分 地域別	相談受付件数			相談内容(再掲)		検査(再掲)	相談方法(再掲)	
		男	女	計	相談のみ	検査依頼	迅速検査	来所	電話
平成22年度	石川中央	90	54	144	4	140	115	140	4
	河北地域センター	18	10	28	2	26		27	1
平成23年度	石川中央	122	68	190	23	167	144	171	22
	河北地域センター	13	9	22	6	16		16	6
平成24年度	石川中央	135	70	205	13	192	171	192	13
	河北地域センター	21	8	29	25	4		8	21
平成25年度	石川中央	131	65	196	17	179	159	182	14
	河北地域センター	4	3	7	2	5		5	2
平成26年度	石川中央	120	60	180	20	162	124	163	17
	河北地域センター	9	2	11	5	4		7	4
平成27年度	石川中央	128	37	165	15	150	128	154	11
	河北地域センター	9	2	11	8	3		4	7

(3) 性感染症相談

表3 性感染症相談状況

年度	区分 地域別	相談件数			血液検査受付件数(再掲)			相談方法(再掲)		
		男	女	計	男	女	計	来所	電話・メール	計
平成23年度	石川中央	62	41	103	62	40	102	102	1	103
	河北地域センター	9	6	15	9	6	15	15	-	15
平成24年度	石川中央	83	41	124	82	38	120	120	4	124
	河北地域センター	19	5	24	3	2	5	7	17	24
平成25年度	石川中央	43	21	64	43	21	64	64	-	64
	河北地域センター	3	2	5	3	2	5	5	-	5
平成26年度	石川中央	88	48	136	88	48	136	136	-	136
	河北地域センター	4	2	6	4	-	4	4	2	6
平成27年度	石川中央	100	28	128	91	24	115			
	河北地域センター	2	-	2	2	-	2	2	-	2

(4) エイズ・性感染症予防に関する普及啓発

ア 講演会

目 的：管内の高校において、生と性の健康について考える機会を提供し、エイズや性感染症に関する正しい知識と予防法を啓発するとともに命の大切さを学ぶ

日 時：平成27年11月10日(火) 13:25 ～ 15:15

場 所：石川県立翠星高等学校

対象者：1年生の生徒 160人

講 師：セクシュアリティカウンセラー・助産師 あねざきしょうこ

内 容：生と性の学習会「こころ・からだ・性 ～「性」と「生」の自立をめざして～」

イ 健康教育

日 時：平成27年8月19日(水) 18:15～18:55

場 所：若松梱包運輸倉庫株式会社

対象者：社員 152人

講 師：石川中央保健福祉センター職員

内 容：H I V/エイズと性感染症

日 時：平成27年11月16日(月) 10:40～11:20

場 所：石川県立大学

対象者：1年生 136人

講 師：石川中央保健福祉センター職員

内 容：性感染症とH I V/エイズ

日 時：平成28年2月15日(月) 15:30 ～ 16:20

場 所：石川県立鶴来高等学校

対象者：2年生 138人

講 師：石川中央保健福祉センター職員

内 容：性感染症の予防と検査

ウ 普及啓発・広報

①「H I V検査普及週間(6月1日～7日)」のPR

内 容：管内の大学及び自動車学校でチラシ入りのポケットティッシュ配布、所内にポスター掲示

②ラジオ(FM-N1)での広報

内 容：保健所「エイズについて」事業のPR 等

日 時：平成27年11月18日(水) 10:15～11:15

③成人式でのチラシの配布

内 容：保健所のエイズ検査のPR 等

4 ウイルス肝炎対策

(1) ウイルス肝炎相談・検査

肝炎ウイルス検査は、40歳以上の者を対象に平成14年度から実施しており、平成15年度からは、40歳未満の者に対し有料検査が追加されていた。平成19年12月からは、40歳未満の者に対しても無料で検査を実施している。

平成19年12月に厚生労働省が、フィブリノゲン製剤投与の可能性がある方へのC型肝炎検査受診の呼びかけを行い、平成20年度からは、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業の実施により、医療機関でも検査を受けられるようになった。

表1 ウイルス肝炎相談・検査実施状況 (平成27年度)

区分 年度	地域別	相談件数	血液検査受付件数(再掲)		
			男	女	計
平成23年度	石川中央	261	54	36	90
	河北地域センター	124	8	5	13
平成24年度	石川中央	297	75	37	112
	河北地域センター	167	3	1	4
平成25年度	石川中央	271	38	21	59
	河北地域センター	121	0	1	1
平成26年度	石川中央	188	84	41	125
	河北地域センター	61	0	4	4
平成27年度	石川中央	92	65	19	84
	河北地域センター	2	1	0	1

(2) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業

平成20年4月より、県民の肝炎ウイルス検査の受診機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図る事を目的として、石川県緊急肝炎ウイルス検査事業が始まり、医療機関においても無料で検査を実施できるようになった。

検査の対象者は、県内(金沢市を除く)に居住する20歳以上の希望者で、過去に肝炎ウイルス検査を受けた事がなく、健康増進法その他の法令に基づく事業において肝炎ウイルス検査の受診の機会がなかった者である。

平成27年度の管内受診者は189名(昨年度245名)で、その内B型肝炎陽性者は1名(昨年度1名)、C型肝炎陽性者は1名(昨年度3名)確認された。陽性者については、当保健所から受診勧奨や研修会参加勧奨等のフォローアップを実施した。

(3) 研修会

表2 肝炎ウイルス感染者等支援事業（肝炎に関する講演会）

（平成27年度）

日時・会場	対象	研修内容	参加状況
平成27年12月22日 14:00～16:30 内灘町保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・かほく市、津幡町、内灘町の肝炎ウイルス検診において要精検者となった者 ・保健所における肝炎ウイルス検査において陽性となった者 ・管内市町肝炎ウイルス検診担当者 等 	講演 「B型肝炎、C型肝炎の正しい知識と最新の治療」 個別相談 講師：金沢大学附属病院消化器内科 助教 島上 哲朗 氏	8人 （市町：5人）

5 予防接種

表1 管内市町予防接種担当者連絡会

（平成27年度）

日時・会場	対象	内容	参加状況
平成27年9月11日 14:00～16:00 石川県庁	市町予防接種担当者	1 定期の予防接種における質の向上について ・定期予防接種の接種率について ・Hib、小児肺炎球菌予防接種の接種率について 2 情報提供 ・MR2期対象者への積極的な勧奨について ・麻しん排除状態に認定されたことについて ・水痘の発生状況について ・予防接種実施状況調査について 3 情報交換 ①住民票が県外の方について、里帰り出産等で市内にて予防接種を受けたいと希望があった場合の対応について。 ②長期療養者の理由書について、予防接種の種類によって時期が異なる場合の対応について。 ③再発行・転入時の予防接種券交付の際や過去の接種歴確認申請の対応について。 ④マイナンバー制度導入に関する予防接種関連業務について。	管内5市町及び当所担当者 計11人